



学校便り 「志々伎の風」

No.9

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成30年9月28日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【小陸競壮行会】

10月4日(木)に第14回小学校陸上競技大会がライフカントリーで行われます。9時10分から開会式が行われ、9時45分から競技開始の予定です。この小陸競に向けての壮行会を昨日行いました。



1～4年生の応援の中、自己ベストを出す子が続出しました。多くの方が応援するという状況ではプレッシャーを受けます。しかし、このプレッシャーが記録を向上させる源になります。サッカーでサポーターは、12番目の選手とも言われています。当日も多くの方の応援で、子どもたちを支えていただければと思います。

【校内研修】

教職員の授業力を向上させるために、学校では校内研修を行っています。今年度3回目の研究授業を2年生(道徳)で行いました。子どもたちは「きまりを守るために大切なことは何か？」役割演技や友だちの発表を聞き考えを深めていきました。



放課後には、授業について研究会を実施し、指導方法の改善について意見を出し合いました。

【親子で読書】

この春で中学二年生になる田代有礼(たしろあれい)は、猿に「くるすの丘に、来い」と言われる夢を見ます。その直後に引っ越しが決まり、できたばかりのくるす小中学校に通うことになります。中学二年生はたったの三人。うちひとり、おそろしく数学ができ、とてつもなく馬鹿とうわさのQ(キュー)です。関わりあいになりたくないと思っ矢先、Qとともに異空間に閉じこめられます。



【保護者・地域・学校の総力で！】

夏休みの作品をまちづくり運営協議会さんのご協力、ふれあい会館に展示させていただきました。また、参観された方から、心温まる感想や貴重なアイデアをいただきました。ありがとうございました。